

ずいひつ

Z U I H I T U



未来に向け想像力を高めて行動する

宮城県公営企業管理者

桜井 雅之

新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延し、私たちの生活と業務に大きな影響が出ています。状況は刻々と変化しており、予断を許さない状況が続いています。

宮城県企業局では、水道用水供給事業、工業用水道事業、流域下水道事業および地域整備事業の4つの事業を運営しています。このうち、特に水道3事業は県民生活および企業の生産活動に直結する必要不可欠な事業であり、新型コロナウイルスをはじめとした新たな感染症や大規模災害が発生した場合においても、事業継続をしていくことが我々の使命です。

こうしたことから、新型コロナウイルス感染症対策において、職員をはじめ、水道施設運転管理受注者や下水道処理施設指定管理者の感染防止策の徹底と、感

染した場合の業務継続体制について、しっかりと対応するよう指示をしました。幸いにも現在まで感染者は発生していませんが、こうした非常時には日々フェーズが変化しますので、一人ひとりが想像力を高めて、次にどうなるのかということを常に考え行動していくことが大事だと考えています。

東日本大震災からの創造的な復興の取組みとして、県が水道用水供給事業者のまま運営を民間事業者に移せる「みやぎ型管理運営方式」の令和4年4月からの事業開始を目指し、準備を進めています。今年度は、応募のあった民間事業者との競争的対話を行っていきませんが、昨日、あるいは今日やっていたことが明日は全く違う常識になるということを念頭に、想像力を豊かにしながら、より良い制度設計を進めていきたいと考えています。

最後に、新型コロナウイルスが一日も早く終息し、皆様の生活や事業活動が、通常に戻ることができるよう、願ってやみません。
(5月1日執筆)



管理者に就任して感じていること

那覇市上下水道事業管理者

上地 英之

はいさい ぐすーよー ちゅー うがなびら。(沖縄の方言で、「みなさん、こんにちは。ご機嫌いかがでしょうか。’)沖縄では、真っ赤なデイゴの花が咲き誇る暖かい季節になってきました。

私は、平成31年3月31日に那覇市役所を退職し、同年4月1日に上下水道事業管理者に就任しました。就任して早くも1年が経ちますが、平成から令和へという時代の節目にこのような大役を任されて大変嬉しく思うとともに、誠心誠意をもって職務を遂行したいと改めて感じています。

本市は、約32万人の給水人口を有し、普及率は100%に達しています。市内全域への水道施設の整備は、本市の強みだと感じています。一方で、更新すべき水道施設は増加傾向にあり、事業費の増加が予想され

ます。経営戦略の策定に当たり収支予測を慎重に行い、中長期的な収支状況を的確に捉えることが重要です。

現在、新型コロナウイルスにより、世界中の人々が危機的な状況に置かれています。日本においても感染拡大が深刻な問題となっている中、私も経営者として、職員の安全配慮と市民への水の安定供給を最優先に考えなければなりません。

職員の安全のため、感染防止に繋がる情報収集や手法を積極的に行い、柔軟な判断をもって指揮を執ります。そして、人々が安心して生活するためには安全・安心な水を滞りなく供給することが使命だと感じています。職員一丸となり、職務に尽力してまいります。

ちなみに(私事ですが)、定年近くになって始めた趣味のゴルフも、昨今の状況を踏まえ暫く自粛しているところです。

結びになりますが、このような危難が一日でも早く終息し、人々が安心して生活を送れるようになることを切に願います。
(5月1日執筆)



A-IDEAと超短編小説

(公財) 水道技術研究センター
理事長

安藤 茂

水道事業に必要な「安心、安全、安定」という言葉は、全てAから始まります。最近の水道技術研究センターのプロジェクトの愛称も、A-Batons、A-Dreams、A-Marine、A-Smart、A-IDEA、UV-ACEといったように、Aを使った愛称が多くなっています。また、Aは水 (Aqua) だけでなく、安藤 (Ando) という名前にも含まれています。

我ながら傑作の一つと思っているのはA-IDEAであり、水 (Aqua) に関する革新的技術 (Innovation) を実証 (Demonstration)・評価 (Evaluation)・適用 (Application) するプロジェクトを意味し、「えー (良い) アイデア」そのものともいえます。また、紫外線水処理技術適用拡大プロジェクト (UV-ACE) は、紫外線技術 (UV) の適用 (Application)、ろ過との組

み合わせ (Combination)、適用拡大 (Extension) を意味します。なお、UV-ACEプロジェクトには、東大野球部のエース (ACE) であった大瀧雅寛・お茶の水女子大学教授に参加してもらっています。

ところで、最近、私は超短編小説 (A4サイズ・2枚程度で完結するもの) を数編作っており、そのタイトルおよび作者は、紫外線処理に関連した「二千某年の悲劇、作者：市外仙人 (紫外線人?)」、「離島苦、作者：島民憂先 (都民優先?)」、水道の広域化に関連した「損得の結末、作者：東郷司葉 (統合しよう?)」であり、最近、水道関係のニュースレターの一部に掲載したところです。なお、「二千某年の悲劇」を読んだ方からは「登場人物が想像できるし、場面がリアルで悪戦苦闘している様子が目に見えるようで面白かった」などの感想をいただいています。新型コロナウイルス問題の早期収束を祈念しつつ、これからも、頭の体操を兼ねて、また、楽しく仕事をするため、あれこれ考えている昨今です。 (4月1日執筆)



趣味はゴルフだけど…

全国管工事業協同組合連合会
会長

藤川 幸造

昨年7月3日の第59回の全国管工事業協同組合連合会総会 (於：鹿児島市) で、全管連会長に就任いたしました。当日は、日本付近に停滞した前線の影響で、九州地方では総雨量1,000mmを超すところもあり、鹿児島市においても大雨警報、避難指示が出され、文字どおり嵐の中の船出となりました。

JRが運休になり、一時は開催も危ぶまれましたが、途中の熊本駅からタクシーやレンタカーで駆けつけてくれた役員もいらっしゃいました。また、懇親会には多くの賛助会員の方にもご参加いただきました。管工事業、関係団体の結束力、パワーを感じました。

全管連会長としての私の役目は、管工事業界のパワーを維持・発展させることだと思っています。全管連の所属員企業も減少傾向にあります。企業が後継者

を確保し存続すること、若者がこの業界に入職定着し、技術や技能が継承されることが必要です。そうでないと地震、豪雨災害時に現地に駆け付け応急復旧に当たる人材がいなくなってしまう。

全管連では、全国でブロック会議を行い、管工事業の社会的評価向上、適正利潤の確保等の諸課題解決のために議論しています。また、役員による多くの会議・会合、自民党や公明党の水道に関心の深い先生方との意見交換、関係省庁や団体との情報・意見交換も積極的に行っています。

これら活動のため、地元富山市にいる時間が制限され、地元で大好きなゴルフをする機会が激減し、スコアが悪くなっているのが悩みです。

会長就任2年目に当たる令和2年に、私のゴルフの成績が回復するかどうかは、新型コロナウイルスの早期終息と諸会議等への出席がもう少し少なくなるよう皆様にご理解いただくことに掛かっています。

(4月1日執筆)